

平成 30 年度  
第 1 回ヒアリ対策関係省庁連絡会議

日時：平成 30 年 6 月 12 日（火）14:00～

場所：経済産業省別館 1107 号室

議題：

- （1）平成 29 年度の対応状況について
- （2）平成 30 年度の対応について
- （3）その他

## 資料一覧

### 【配付資料】

出席者名簿

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 資料 1   | 平成 29 年度のヒアリ対策等の概要        |
| 資料 2   | 平成 30 年度のヒアリ対策等の概要        |
| 参考資料 1 | ヒアリの防除に関する基本的考え方 Ver. 1.1 |
| 参考資料 2 | ヒアリ同定マニュアル Ver. 1.1       |

## 出席者名簿

### ○内閣官房

庄子 真憲 (内閣官房副長官補付参事官)

### ○消防庁

小谷 聡司 (救急企画室救急専門官)

代理 市川 広則 (救急企画室総務事務官)

### ○外務省

黒石 亮 (中国モンゴル第二課首席事務官)

### ○財務省

後藤 学 (関税局業務課税関相談官)

### ○文部科学省

大塚 和明 (初等中等教育局健康教育・食育課課長補佐)

### ○厚生労働省

塚田 陽介 (大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室調整係長)

### ○農林水産省

中川 一郎 (大臣官房環境政策室長)

### ○国土交通省

佐竹 健次 (総合政策局環境政策課長)

東 佑亮 (総合政策局環境政策課課長補佐)

岩月 理浩 (港湾局総務課長)

山口 茂彦 (航空局総務課危機管理室長)

田中 一宏 (港湾局総務課課長補佐)

門脇 亘 (航空局総務課危機管理室係長)

### ○経済産業省

福永 佳史 (貿易経済協力局総務課課長補佐)

和田 祐造 (貿易経済協力局総務課係長)

### ○環境省

永島 徹也 (自然環境局総務課長)

堀上 勝 (自然環境局野生生物課長)

曾宮 和夫 (自然環境局野生生物課外来生物対策室長)

八元 綾 (自然環境局野生生物課外来生物対策室室長補佐)

深谷 雪雄 (自然環境局野生生物課外来生物対策室移入生物専門官)

## ヒアリへの対応について

- 昨年6月に国内で初確認されて以降、27事例が報告 ※5月10日に今年初確認
- 確認できた個体は、すべて駆除
- 国内でヒアリの定着を示す証拠は確認されておらず、港湾エリアにおける早期発見・防除が重要
- ヒアリ確認港湾では調査及び防除等を実施し、未確認港湾についても調査等を実施
- 政府として正確な情報発信と冷静な対応を国民に呼びかけていくことが重要

### ヒアリとは

南米原産のアリ。刺されるとやけどのような激しい痛みが生じる。体長は2.5mm～6mm。

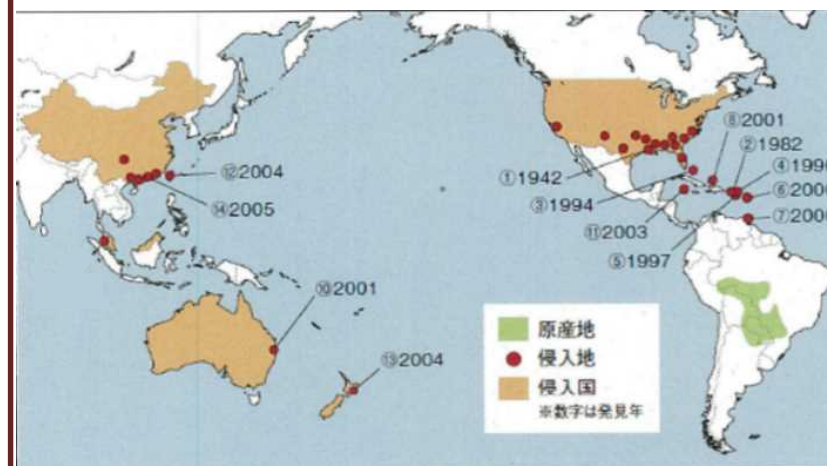
毒性が強く、毒針で刺されるとアレルギー反応により死に至ることもある。

外来生物法に基づく特定外来生物に指定されており、**生態系**、**農林水産業**、**人体への被害**が懸念されている。



全体は赤茶色で腹部が黒っぽい赤色      ヒアリが作る大きなアリ塚

### ヒアリの分布状況



原産地は南米。オーストラリア、中国、台湾など環太平洋諸国では2000年代から急速に分布が拡大。

## 国内でのヒアリ確認の経緯

平成29年6月以降、27事例（12都府県）の報告（平成30年5月現在）

年度	番号	確認地点	発表日	確認状況	個体数	出港地
29	1	兵庫県尼崎市	6/9	事業所敷地内：コンテナ内	500以上	中国南沙港
	2	兵庫県神戸市（ポートアイランド）	6/18	コンテナヤード：地面の舗装の割れ目	100以上	-
	3	愛知県弥富市（名古屋港）	6/30	コンテナヤード：コンテナの外壁	7	中国南沙港
	4	大阪府大阪市（大阪南港）	7/3	コンテナヤード：地面の舗装の割れ目	50	-
	5	東京都品川区（東京港）	7/6	コンテナヤード：コンテナ内	200以上	中国三山港
	6	愛知県飛島村（名古屋港）・愛知県春日井市	7/10	コンテナヤード：コンテナ内・事業者敷地内	17程度	中国南沙港
	7	神奈川県横浜市（横浜港）	7/14	コンテナヤード：地面の舗装の割れ目	700以上	-
	8	福岡県福岡市（博多港）	7/21	コンテナヤード：地面の舗装面の割れ目、コンテナ内	約300	中国南沙港
	9	大分県中津市	7/24	事業者敷地内：コンテナ内	20程度	中国高欄港
	10	福岡県福岡市博多区	7/27	事業者敷地内：コンテナ内	30程度	中国蛇口港
	11	愛知県弥富市（名古屋港）	8/4	空コンテナヤード：コンテナ内	100程度	中国廈門港
	12	岡山県倉敷市（水島港）	8/9	空コンテナヤード：地面の舗装面上	200以上	-
	13	埼玉県狭山市	8/16	事業者敷地内：荷物	1	中国黄埔港
	14	広島県広島市（広島港）	8/24	コンテナヤード：トラップ、その周辺の地面の舗装面上	131	-
	15	静岡県静岡市（清水港）	8/27	コンテナヤード：トラップ、その周辺の地面の舗装の継ぎ目	600以上	-
	16	愛知県名古屋（名古屋港）	9/1	事業者敷地内：コンテナ内	約1000	中国天津港
	17	神奈川県横浜市（横浜港）	9/5	空コンテナヤード：コンテナ内	約60	ジブチ共和国ジブチ港 （中国寧波港経由）
	18	福岡県北九州市（北九州港）	9/15	コンテナヤード：トラップ	7	-
	19	岡山県笠岡市	9/18	事業者敷地内：荷物	1	中国廈門港
	20	愛知県弥富市（名古屋港）	10/2	コンテナヤード：緑地	2	-
	21	神奈川県横浜市（横浜港）	10/5	コンテナヤード：トラップ	2	-
	22	京都府向日市	10/14	事業者敷地内：コンテナ内	約2000	中国海口港
	23	静岡県浜松市・愛知県弥富市	11/6	事業者敷地内：積荷・バンブール：空コンテナ内	約200	中国中山港
	24	広島県広島市（広島港）・広島県呉市	11/9	事業者敷地内：積荷・コンテナターミナル：空コンテナ内	73	中国中山港
	25	広島県呉市	11/22	事業者敷地内：積荷	1	中国中山港
	26	広島県広島市（広島港）・広島県呉市	11/22	コンテナターミナル：空コンテナ内・事業者敷地内：積荷	7	中国中山港
	30	27	大阪府八尾市	5/10	個人が購入した工業製品の梱包内	1

## 平成29年度の主な対応状況

閣僚会議（7/20）や関係省庁連絡会議（7/3,7/11）を開催しながら、以下の3つの観点で対策を実施。

### 1. 確認地点での防除及び拡散防止対策

- ① 発見された個体は全て殺虫処分し、ヒアリ確認地点では調査及び防除を実施。ヒアリが確認された港湾における殺虫餌の追加的な設置等を実施（環境省、国土交通省）。
- ② ヒアリ確認地点毎に周辺2km程度の生息状況確認調査を実施（環境省）。

### 2. 水際防除対策

- ① 主要7港湾におけるヒアリの確認調査を7月に実施。同7港湾を含め、中国、台湾等からの定期航路を有する68港湾の調査及び殺虫餌の配備を実施。主要11港湾で冬季調査を実施（環境省、国土交通省）。
- ② 上記68港湾において、コンテナヤードの舗装の隙間を埋める緊急対策工事を実施するとともに、ヒアリが確認された港湾において、ヒアリの定着を防止するための舗装改良（コンクリート舗装化等）に対する支援制度を29年度補正予算において創設（国土交通省）。
- ③ 国際線が就航する29空港において確認調査を7月に実施（国土交通省）。
- ④ 輸入植物検疫を実施する156の海空港において、輸入検疫時のヒアリの目視調査及び同定依頼への対応・報告を指示（農林水産省）。
- ⑤ 海運業界団体等に対し、コンテナの荷主等へのヒアリ対策の周知を要請（国土交通省、経済産業省等）。
- ⑥ 中国でコンテナに荷物を積み込む際のヒアリの混入阻止や殺虫餌を設置する等の対応ができないか、具体的な方法について関係省庁等と検討。中国政府に情報提供と協力を依頼（環境省等）。

### 3. 国民や関係団体への呼びかけ

- ① ヒアリの確認状況や見分け方等についてWEBサイトや啓発ポスター等で情報発信（環境省他、関係省庁・自治体の協力により実施）。
- ② 国民への正確な情報発信と不安解消のため、ヒアリ相談ダイヤルを設置（環境省）。
- ③ 都道府県に対し、簡易的な同定と疑い事例の報告、市町村等への情報周知と連携体制の確保等を要請。また、全国7カ所において計8回のヒアリ対策講習会を開催（環境省）。
- ④ 教育委員会等を通じて学校への周知を夏休み前に依頼（環境省、文部科学省）。
- ⑤ 都道府県等を通じて医療機関や消防本部等にヒアリに刺された場合の対応等を周知済み（厚生労働省、消防庁）。

29年度のヒアリ対策の経験を踏まえ、港湾等での水際対策やヒアリ定着国での輸出時における対策など、ヒアリの侵入・定着防止のため、最大限の取組を行うべく、自治体や事業者との協力の下、関係省庁が一体となって以下の対策を総合的に推進する。

## 1. 港湾等における水際対策

### ヒアリ確認地点での防除【環境省、国土交通省】

- ・ 発見個体はすべて殺虫処分し、確認地点の周辺2kmにおいて確認調査を実施
- ・ 29年度確認地点でのフォローアップ調査を20カ所を実施

### 68港湾等の調査【環境省、国土交通省、農林水産省】

- ・ 68港湾での確認調査を初夏（6月～7月目処）と秋（10月～11月目処）に2回実施。国際線が就航する30空港で確認調査を実施
- ・ 植物検疫を実施する156の海空港で検疫時の目視調査・同定・報告を行うよう指示
- ・ 29年度に緊急対策工事を68港湾において実施するとともに、ヒアリが確認された港湾において、ヒアリの定着を防止するための舗装改良（コンクリート舗装化等）に対する支援制度を29年度補正予算において創設。引き続き、港湾におけるヒアリの定着防止対策を支援。

## 2. 自治体や事業者の取組促進

### 自治体との連携【環境省】

- ・ 都道府県に対し、発見時の簡易同定と事例報告、市町村への情報周知と連携体制の確保等を要請

### 自治体の取組支援【環境省、関係省庁】

- ・ ヒアリ同定・防除マニュアル等を通じた普及と新たな知見を踏まえた改定  
※現時点では「未定着」の段階ではあるが、今後に備え、内陸部での発見時のマニュアルについても検討

### 事業者等への協力依頼【環境省、国土交通省、経済産業省、財務省等】

- ・ 海運業界団体等に対し、船会社やコンテナ荷主等へのヒアリ対策の周知等を要請
- ・ コンテナの輸入等に関わる事業者団体（600超の関係団体）に対し、ヒアリ生息地からの出荷時や日本の港湾での荷揚げ時のコンテナ開封時のコンテナ内外の確認、ヒアリの疑いのあるアリ発見時の連絡や駆除の対応に係る協力依頼文書を4月に発出済み（新規）
- ・ 現場作業向けに分かりやすく具体的な対処を示すチラシ等の作成（新規）

### 3. 国際連携

- ・ 第19回三カ国日中韓環境大臣会合（TEMM19）で確認されたヒアリ対策の重要性を踏まえ、第5回日中韓生物多様性政策対話（5/30-31）、TEMM20（6/23-24）において三カ国間の情報共有を実施、取り得る対策について検討
- ・ 専門家による中国広州市ヒアリ研究センターでの意見交換・現地視察実施済み（4/25）（新規）
- ・ 中国におけるコンテナ内の確認・殺虫餌設置等の対策について、中国政府に協力を依頼。中国と事務レベルの協議を継続

### 4. 国民に向けた情報発信

#### 国民への情報発信【環境省、文部科学省等】

- ・ 正確な情報発信と国民の不安解消のため、ヒアリ相談ダイヤルを継続して設置
- ・ WEBサイトでの情報発信を既存のヒアリの確認状況等に加え、新たなコンテンツ（注意すべきポイントの分かりやすい解説等）を追加することで拡充
- ・ 国民向けに新たな情報を盛り込み、既存のパンフレットを大幅に改定・配布（新規）
- ・ 子供向けに分かり易いチラシを作成・配布（新規）

### 5. 基盤的取組

#### 技術開発【国立環境研究所】

- ・ ヒアリの迅速な確認に活用可能なDNA検出キットの試行を夏までに行い、必要に応じ改良の上、秋を目処に希望機関に配布することが出来るよう調整（新規）

#### 専門家会合の開催【環境省】

- ・ 対策の強化に必要な知見を集約（2回開催予定）

#### 体制の強化【環境省】

- ・ ヒアリ確認の多い地方環境事務所に外来生物防除専門官を本年4月に配置済み（計5名）（新規）